

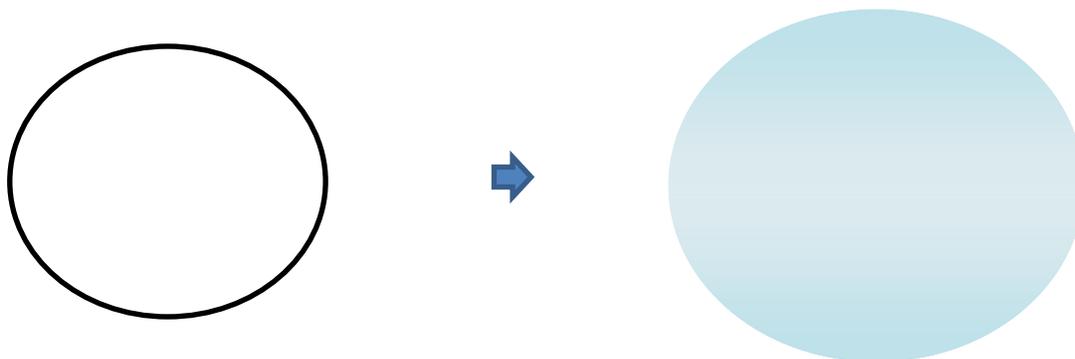
< 日本の夏の風物詩のひとつ、風鈴に金魚を描いてみましょう。 >

風鈴の透けるガラスを描きます。

基本図形 「楕円」 で図形を描きます。「塗りつぶしの色」 「塗りつぶし効果」 「グラデーション」

色 (1) 薄い水色グラデーションの種類 「横」 バリエーション 「左下」

「線の色」 「線なし」 「透過性」 開始値 「40%」、終了値 「60%」



つりひもを描きます。

ひも

「基本図形」 「楕円」 で縦長の図形を描きます。「塗りつぶしの色」 「塗りつぶしなし」

「線の色」 「ゴールド」 「線の種類」 「2.25 pt」



止め具

「基本図形」 「楕円」 小さい丸を描きます。「塗りつぶしの色」 「オレンジ」 「線の色」 「線なし」



つりひも

「線」 「直線」 で風鈴の中のひもを描きます。「線の色」 「ゴールド」



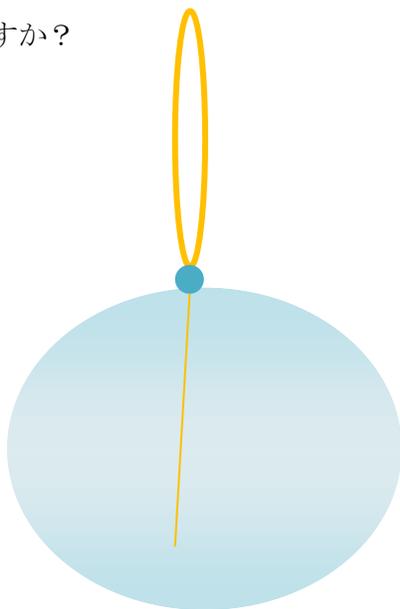
三つの部品をグループ化します



部品を組み合わせます。

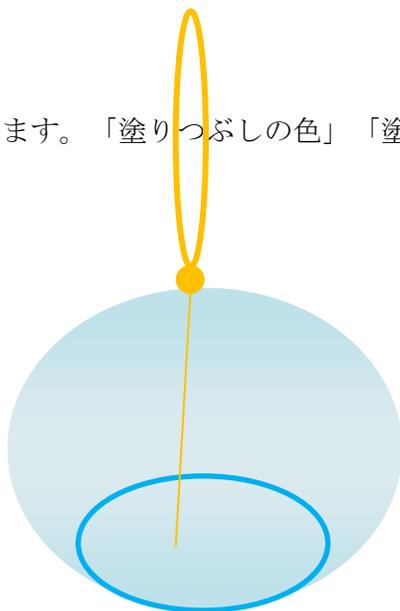
ひもを置きます。風鈴のガラスを重ねます。両方をグループ化します。

風鈴のガラス越しにひもが見えますか？



風鈴の下側を描きます。

「基本図形」「楕円」で平たい図形を描きます。「塗りつぶしの色」「塗りつぶしなし」「線の色」「青」



風鈴の短冊を描きます。(互換モードで一旦保存、その後互換モードで立ち上げ)

「星とリボン」「大波」で図形を描きます。回転ハンドルで回転させます。「線の色」「青」

「ワードアート」「ワードアートギャラリー」右端の列、下から二番目の「縦書き」を選びます。

「ワードアートテキストの編集」の入力の欄に「涼風」の文字を入力しましょう。

フォントの大きさは「20 p t」にします。

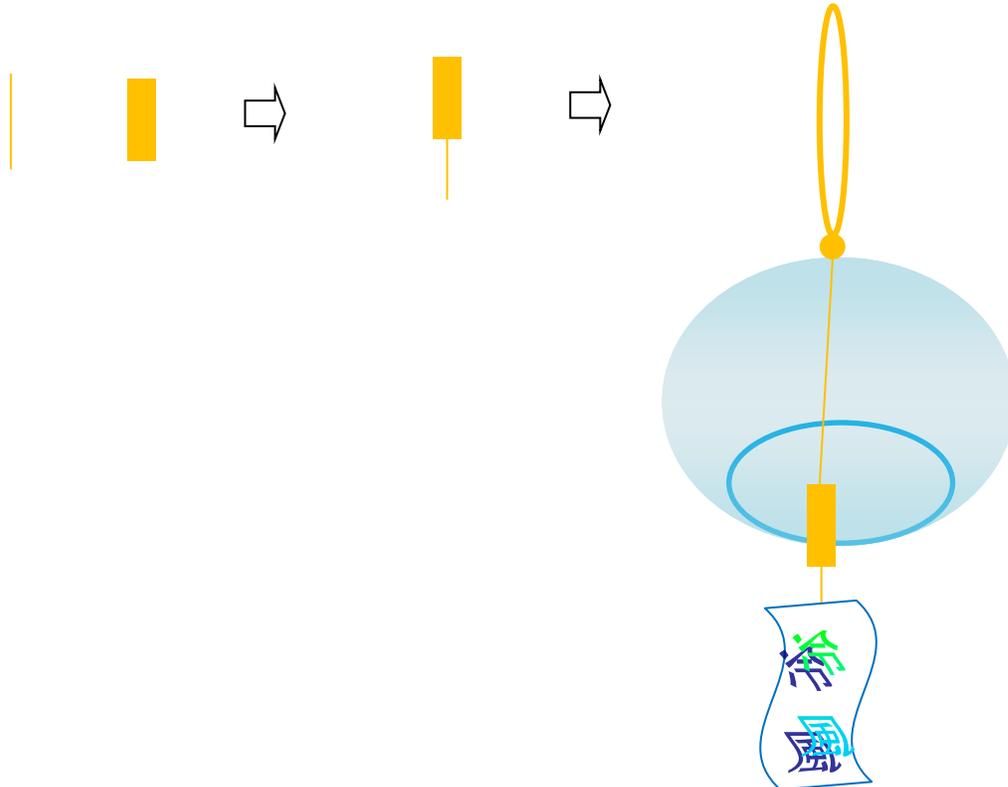
短冊の中に文字を重ねましょう。二つの部品をグループ化します。



短冊にひもをつけて風鈴に下げます。

「線」「直線」で中のひもに続けて描きます。「線の色」「オレンジ」

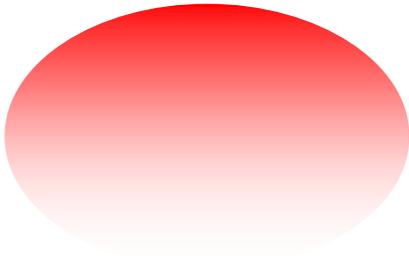
「基本図形」「四角」で小さい四角をつけます。すべて選択してグループ化します。



風鈴に金魚の模様を描きます。

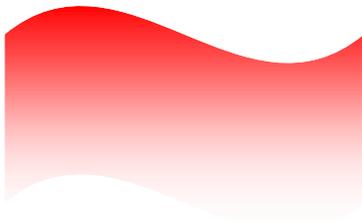
### 金魚の体

「基本図形」 「楕円」 「塗りつぶしの色」 「塗りつぶし効果」 「グラデーション」 色（1） 赤  
明暗のスライダーを右端までドラッグ、グラデーションの種類 「横」 バリエーション 「左上」  
「線の色」 「線なし」



### 金魚の背ビレ

「星とリボン」 「大波」 「塗りつぶしの色」 「塗りつぶし効果」 グラデーション色（1） 「赤」  
明暗のスライダーを右端までドラッグ、「透過性」終了値を「55%」までドラッグ  
グラデーションの種類「横」 バリエーション「左上」、「図形の調整」 「順序」 「最背面へ移動」 します。  
「線の色」 「線なし」



### 小さいヒレ

「星とリボン」 「大波」 「色」と「透過性」は大きいヒレと同じグラデーションの種類「縦」  
バリエーション「右上」 「線の色」 「線なし」



### 金魚のエラ

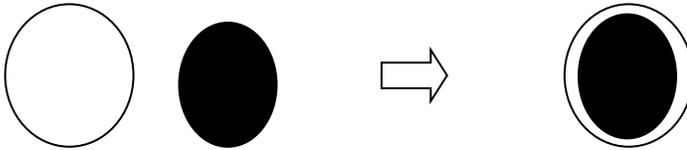
「基本図形」 「月」 「塗りつぶしの色」 「赤」 「線の色」 「線なし」



### 金魚の目

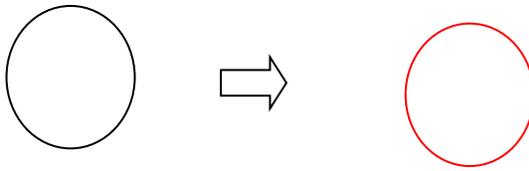
「基本図形」 「楕円」 の大小を描いて重ねます。大きい丸「塗りつぶしの色」 「白」 「線の色」 「線なし」

小さい丸「塗りつぶしの色」 「黒」



### 金魚の口

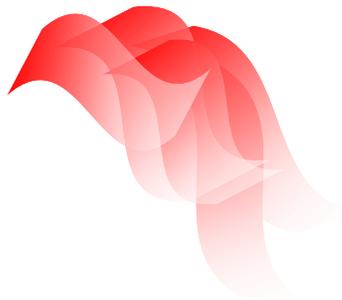
「基本図形」 「楕円」 で小さい丸を描き重ねます。「塗りつぶしの色」 「白」 「線の色」 「赤」



### 金魚の尾ヒレ

「星とリボン」 「大波」 適宜コピーして増やします。「色」と「透過性」は大きいヒレと同じですが、グラデーションの種類「縦」 バリエーション「左上」にします。

「線の色」 「線なし」 すべて選択し「グループ化」します。



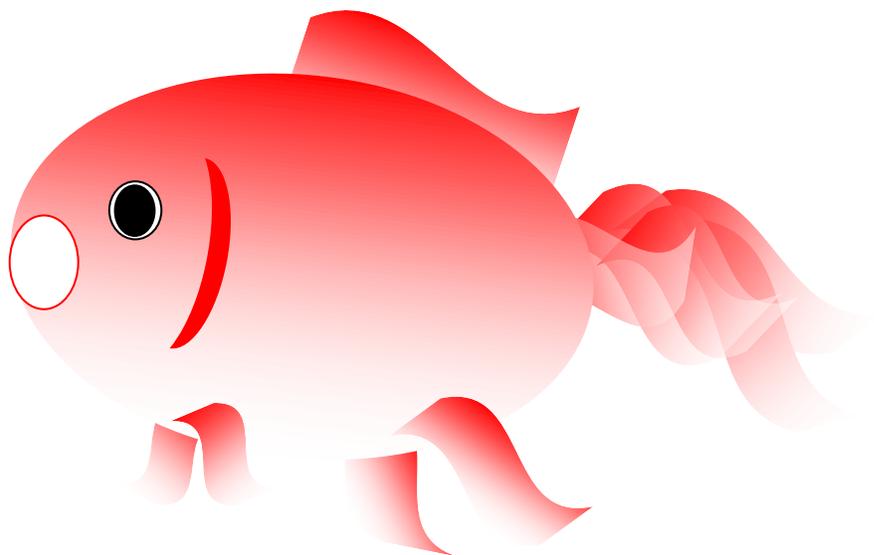
白い背景ではよく分かりませんが、  
ひらひらの尾ビレが涼しそうですね。

金魚の部品をまとめます。

体、大小のヒレ、エラ、目、口、尾ビレを選んで重なり順を変えながら配置します。

すべて選択して「グループ化」します。

サイズハンドルと「Shift」キーを押しながら、縮小しておきましょう。

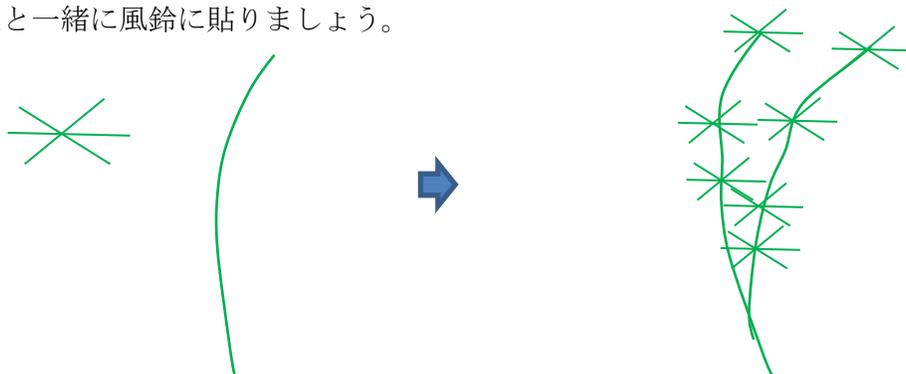


金魚だけでは少し寂しいので水草を描いてつけてみましょう。

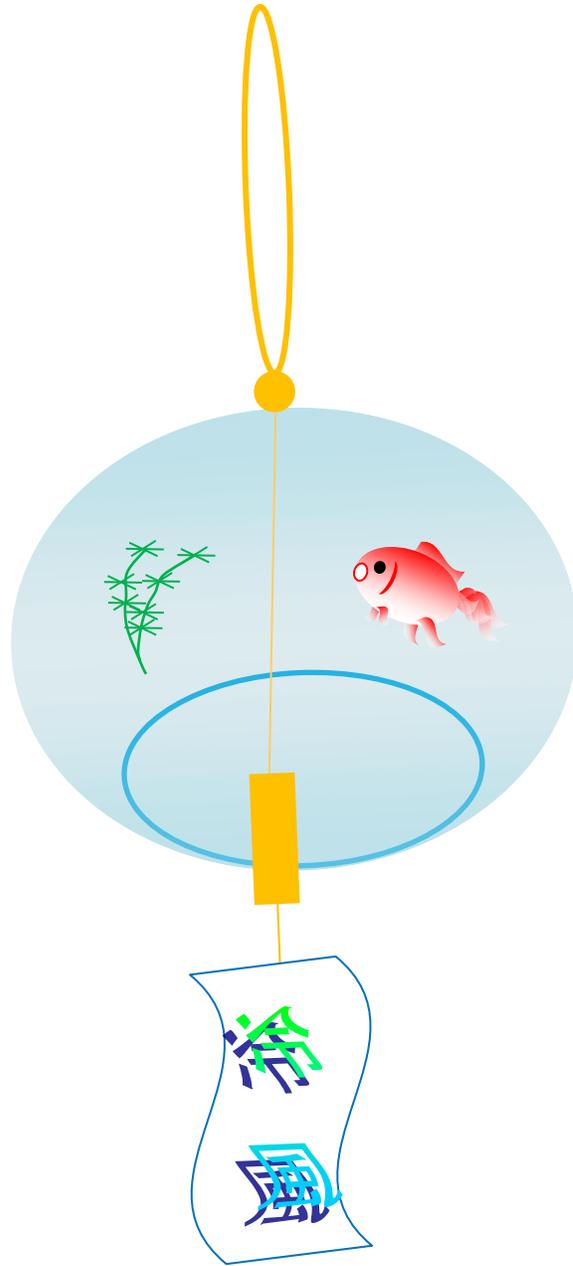
「線」「直線」で3本の短い線を交差させます。「曲線」で長い線を描き、図のように

並べて「グループ化」します。「線の色」「緑」

金魚と一緒に風鈴に貼りましょう。



風鈴に金魚の絵を重ねて完成です。



金魚を少し大きめにしたいときは、金魚鉢などに入れてみましょう。

透過のやり方は風鈴と同じです。